

最大1800ミリシーベルト計測 高濃度汚染水、管理不能



政府は新たに汚染水対策に国費450億円を投入することを発表したが、東電はすでに9600億円を汚染水処理にあてている。

苦しい現状

最近になって福島原発における汚染水問題が大きく取り上げられるようになった。しかし、私は何を今更と思う。

原子力発電とは、ウランの核分裂で発生するエネルギーを使って発電する機械である。もともと、ウランは放射能をもっており、危険なものである。そして、そのウランを核分裂させると、およそ二百種類に及ぶ放射性物質の集合体である核分裂生成物が生まれる。その核分裂生成物が持つ放射能は元のウランが持っている放射能の一億倍に達する。

。「放射能」とは放射線を出す能力を表す言葉で、「放射線」はエネルギーの塊である。つまり、放射能の強さが強くなれば、発熱量が増える。

(略) 原子力発電所(百万キロワット)が一年運転すること、広島原発一〇〇〇発分を超える核分裂生成物が炉心に蓄積していく。仮に何らかの事故で原子力発電所が運転を停止する、つまりウランの核分裂反応を止めたとしても、すでに炉心に蓄積している核分裂生成物が出す熱は止められない。その発熱は、核分裂反応を止めた直後には二十一万キロワットに

達し、中型の火力発電所に相当する発熱である。それを冷却できなければ、炉心が溶けることは当たり前で(略)福島第一原子力発電所では炉心が溶け落ちてしまった。大量の放射性物質が環境にま

き散らされたが、電源が回復されて以降、それ以上の破壊を避けるために、溶け落ちてどこにあるかすら、定かでない炉心に向かって間断なく水が注がれてきた。しかし、水を注いでしまえば、汚染水となって溢れてくることも当たり前で、二〇一年三月末には、すでに一〇万トンに及ぶ汚染水が原子炉建屋、ター

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

ピン建屋、トレンチ、ピット、立坑などの地下構造物に溜まってしまった。それらの構造物はコンクリート製であり、割れないコンクリートは存在しないし、巨大な地震に襲われたそれらの構造物はいたるところで割れていたはずである。当然、溜まっていた汚染水はその時点から環境に漏れ出していた。マスコミを含めて、それに目をつぶっていただけのことである。

また五月には溶け落ちた炉心が地下水と接触しては取り返しがつかなくなるので、汚染を局限化するため原子炉建屋周辺に遮水壁を張り巡らせるべきだとの提案もした。しかしすべては無視されたまま、汚染水は増大し、今や福島原発の敷地が放射能の沼のような状態になってしまっている。汚染水を溜めるタンクは、鋼材と鋼材をパッキンを挟んでボルトで留めると

いう簡易型のもので、当然あちこち漏れてしまう。仮に溶接型のタンクにしたところで、敷地に限りがあるから、いつまでもタンクを増設することもない。遠からず、汚染水を海に流さざるを得なくなる。

このまま水を冷却材として使う限り、汚染水はどんどん増加する。水は冷却材として最高の物質で、(略)しかし、水での冷却を諦めなければならぬ時点になったと思う。その代わりの冷却材として私は融点の低い金属、例えば鉛での冷却を提案し始めた。しかし、それすら確実に成功するとの確信はない。福島第一原発の事故はかつて人類が遭遇したことのない事故であり、

反原発の集会で浅めの大きな箱に並べられたお菓子。値段は？と近づいてみると、中にピラと飴ちゃんが1個！「銘菓 福一」「原発さいか堂謹製」やて。裏は「内容量：54基
原材料名：ヨウ素、セシウム、プルトニウム、ストロンチウム、他。
成分：線、線、線 賞味期限：2万4千年後に風味半減。消費期限：10万年後（人類史の10倍！）まで毒性保証致します。販売者：原子力村
製造者：原発さいか堂」やて。もちろんタダでっせ。



どうすれば収束できるか経験的には知ることができない。幅広い専門家の英知を集めて、対処するべきであろう。こいで・ひろあき
京大原子炉実験所助教